令和６年度　　【　公表用　】

保育園の自己分析

LateralKidsグループ　　園

保育所保育指針には、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」ことが明記されています。
LateralKidsでは、上記の件を実施するにあたり、「評価」とは第三者が行うものであるため、自ら行うものを【自己分析】と位置づけ実施いたしました。
保育園としての自己分析について、分析の項目、視点、方法および結果を下記のとおり公表するものとします。

〈　分析について　〉
分析にあたっては、以下のような基準で全職員で行い、合計をして平均を出しています。
100%・・・かなりできている　　70%・・・ほぼできている
40%　・・・あまりできていない　　10%・・・ほとんどできていない

１．保育の基本的理念と実践に係る観点

項　目	内　容
保育理念	LateralKidsの保育理念・方針・目標を職員が理解し、実践している
子どもの最善の利益の考慮	子どもの最善の利益を考慮して、最もふさわしい生活の場になることを理解している
	子ども一人一人の人格を尊重し、子どもが自分の意見や思いなどを保育者などの大人にはっきり伝えることができるよう配慮している
子どもの理解	各年齢の心身の発達段階を理解している
	子どもの行動のみにとらわれず、その奥にある背景を探り、気持ちに寄り添ったり、子どもの立場にたって考えるよう努めている
	子ども一人一人の個性や成長のペースを尊重し、ありのままを受け止めて保育にあたっている
	子どもの置かれている家庭環境等の理解に努め、一人一人に応じた働きかけを心がけている
保育の計画及び評価	全体的な計画は、保育の連続性を考え、全年齢の発達の見通しが持てるよう立案されている
	日常の保育を通して、子どもの思いや気持ちを汲み取りながら指導計画に反映させている
	各年齢の子どもの発達状況に即した指導計画となっている
	日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して、指導計画を立案している
	子どもが主体的に活動できるよう環境設定をしている
	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している
	子どもの実態や状況の変化に応じて、柔軟に指導計画の見直しや改善を行っている
	指導計画の評価反省を行い、その結果を次の指導計画に活かし保育の改善に努めている

保育環境（人・物・場）の構成	安心感や他者に対する信頼感の得られる環境の下で、自己を十分に発揮し、いきいきと活動できるように援助している
	一日の生活のリズムや在園時間が異なる子どもが共に過ごすことを踏まえ、活動と休息、緊張感と解放感等の調和を図るよう配慮している
	遊びが展開する中で、子ども自らが環境を作り替えていくことや、環境の変化を保育士等も子どもたちと共に楽しみ、思いを共有している
	子どもが人とのやり取りを楽しみ、子ども相互の関わりや周囲の大人との関わりが自然と促されるような環境を整えている
	子どもが好奇心を持って自ら関わりたくなるような魅力ある環境を構成し、子どもがそれまでの経験で得た様々な資質・能力が十分に発揮されるよう工夫している
	保育園における自然環境や空間などを活かしながら、多様で豊かな環境を構成し、子どもの経験が偏らないように配慮している
	子どもの活動が豊かに展開されるよう保育園の設備や環境を整え、保育園の保健的環境や安全の確保などに努めている
保育士等の子どもへの関わり 保育のねらい及び内容	子どもには、わかりやすい温かな言葉づかいで穏やかに話すよう、職員の共通理解のもとで実践している
	子ども一人一人の気持ちを受容し、信頼関係を築くよう努めている
	基本的な生活習慣や生理現象に関して、個人差があることを理解し一人一人の子どもの状況に応じて対応している
	養護と教育が一体的な展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている
	遊びや生活を通して様々な経験ができるよう保育の工夫をしている
	身体の状態、機嫌、食欲など日常の状態の観察を十分行うことで、感染症を予防している
	事故防止に努めながら、様々な遊びを取り入れている
	子どもの生活の連続性を意識して、家庭での過ごし方を把握して保育にあたっている
	他者との関わり方を少しずつ身につけられるよう、必要に応じて仲立ちをしている
	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解して保育にあたっている
	指導計画を基盤に、子どもを主体に興味や関心に合わせ柔軟に保育を展開している
	家庭環境、進級、入園等、環境の変化に対して普段以上に気を配り、安心して過ごせるよう配慮している
	障がいのある子どもの保育にあたっては、個別に指導計画を作成し、家庭と連携を取りながら、個に応じた関わりと集団の中の一員としての両面を大事するよう配慮している
保育園運営 職員間の連携	行事の種類や回数が適切である
	行事の意義を十分に踏まえ、日々の保育の延長上に位置付け計画している
	行事を通して、保護者に取り組みの様子を分かりやすく伝えたり、成長を喜び合うなど共有に努めている
	業務遂行にあたって、正確、迅速に報告・連絡・相談を実践している
	問題意識を職員間で共通理解し、協力している
	環境整備や清掃等、職員間で分担しあって取り組むよう努めている

園分析	74.0 %

2．家庭及び地域社会との連携や子育て支援に係る観点

項　目	内　容
入園する子どもの家庭との連携と子育て支援	利用者のプライバシー保護について、マニュアルの読み合わせや、園内における工夫等、組織として具体的に取り組んでいる
	入園時に、子どもの生育歴、既往歴、発達状況、家庭状況等を把握するため、子どもと保護者との面接を行っている
	家庭の状況や保護者との情報交換について、子ども一人一人に必要な配慮や課題が明示され、保育に活かしている
	保護者に対して相談や助言を行う際は、保護者の受容、自己決定の尊重、プライバシーの保護や守秘義務などの基本的姿勢を踏まえ、子どもと家庭の実態や保護者の心情を把握し、保護者自身が納得して解決に至ることができるよう努めている
	保育及び子育てに関する知識や技術など、保育士等の専門性や、子どもが常に存在する環境など、保育園の特性を活かし、保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるように努めている
	送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加え、必要に応じて別に機会を設けて相談に応じたり個別面談を行っている
	「園だより」などを、定期的に発行している
	子どもの成長や、日頃の保育内容を共有したり保護者同士の関わりの機会として、保護者参加の行事を設けている
	あらかじめ年間行事の日程を知らせ、保護者が参加の予定を立てやすくしている
	保護者に育児不安等が見られる場合には、保護者の希望に応じて個別の支援を行うよう努めている
	不適切な養育等が疑われる家庭には、市町村や関係機関と連携し、適切な対応を図っている。また、虐待が疑われる場合には、速やかに市町村又は児童相談所に通告している
地域の保護者等に対する子育て支援	地域における子育て支援を実施し、地域の子育て支援ニーズを把握するよう努めている
	子育て支援の情報提供をしている
地域における連携・交流	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、保護者等に提供している
	地域の行事や活動に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れる機会を設けている
	虐待対応も含め、子どもの保育の様々な場面に対応できるよう、連携を図るべき当該地域の関係機関・団体が特定され、連絡や協力が可能な状態にある
	子どもにおける情報共有に関して、保育経過記録または保育所児童保育要録を作成している

園分析	64.4　　%

3．保育の実施運営・体制全般に係る観点

項　目	内　容
組織としての基盤の整備	LateralKidsの保育理念・方針・目標について、職員及び保護者に十分な理解を促すための取り組みを行っている
	組織として園を円滑に運営できるよう、日頃から施設長がリーダーシップを発揮し指揮をとっている
	職務内容が明確で、協働できる体制が整っている
	係や仕事の分担・割り当てが適切である
	職員一人一人が組織の一員であることを意識して、自らが行うべき仕事に対し責任感を持って意欲的に取り組んでいる
	仕事をするにあたり、職員間の同僚性を高めることを意識している
社会的責任の遂行	苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に周知する取り組みが行われている
	保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密や個人情報の保持について、全職員に周知し守られている
	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている
健康及び安全の管理	給食室と保育士が連携し、子どもの姿を共有しながら、給食時のみならず保育内容に「食育」の工夫をしている
	安全計画に基づき、全職員が子どもの安全確保のためのリスクを把握し、安全確保に向けた具体的な取り組みをしている
	保健年間計画において、全職員がそのねらいや内容を踏まえ、一人一人の子どもの健康の保持及び増進に努めている
	子どもの心身の健康状態や疾病等の把握のために嘱託医等により定期的に健康診断を行い、その結果を記録し保育に活用するとともに、保護者が子どもの状態を理解し日常生活に活用できるように配慮している
	子どもの心身の状態に応じて保育するために、子どもの健康状態並びに発育及び発達状態について、定期的・継続的に、また、必要に応じて随時把握をしている
	火災や地震などの災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施するとともに、緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担等を明示し全職員で共有されている
	園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している
	緊急時（事故、感染症等）に正しく対応できるようマニュアル等の読み合わせを行い、組織として体制を整備し機能している
	アレルギー疾患を有する子どもの保育については、保護者と連携し、医師の診断および指示に基づき、適切な対応を行っている
職員の資質向上	全職員が計画的に研修を受講できるよう、園内研修・園外研修の年間計画を作成している
	自治体や地域で開催される外部研修へ参加できるよう、参加の機会確保に努めている
	園外研修を受けた内容や結果を職員全員で共有し、保育業務に反映させている
	研修で得た知識を、機会を見つけて発信したり、積極的に実践するよう努めている
	職員同士が主体的に学び合う姿勢を持ち、自己研鑽に努めている

園分析	72.4　　%

園全体の分析

新保育所保育指針に改訂され園の保育理念や方針が新たになった。
より、こども主体の人権を擁護する「生きる力」を育む保育が求められることになった。
本年度においては、園内における虐待事案に繋がる不適切な関係をなくすことに努めた。
園内の保育環境は、良好になった。

来年度の課題

来年度は、園内活動の充実は、継続し、地域社会との連携も視野にいれ保育計画を立案する。

今後は、自己分析で見つかった課題の解決に向けて努力をしていきます。
ご意見などありましたら、どうぞお知らせください。保育の参考にさせて頂きます。

令和６年度

保護者アンケート結果

【　公表用　】

Lateral Kidsグループ

令和7年3月10日

対象世帯数　91 人

回収世帯数　74 枚

回収率　81.3 %

保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。
アンケート結果がまとまりましたので公表させていただきます。
皆様からいただきました貴重なご意見は、今後の保育に反映させていくよう職員一同努めてまいりたいと思います。
今後も、保育園運営に当たりご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

No.	質問内容	① そう思う	② ややそう思う	③ ややそう 思わない	④ そう思わない
1	日頃から園の保育理念や方針、保育内容について説明があり、それに基づいた保育がされている	31	35	7	1
2	無条件に「大切にされている」「愛されている」という自己肯定感が育っている	52	19	0	0
3	保育士や友だちを好きになり、人を好きになり人を信じる力、人と関わる力が育っている	54	18	1	1
4	あきらめずに自分でやってみようとする力が育っている	46	26	1	1
5	個人情報について、慎重に取り扱われている	42	29	3	0
6	お子さんの発育や意欲を促すような環境が設定されている	37	24	2	0
7	自然との触れ合いや地域との交流が十分にある	35	33	6	0
8	送迎時の保育士との会話や連絡帳等で、保育園やご家庭での様子について日常的に情報交換がなされている	49	21	4	0
9	園やクラスでの様子について、園だよりや掲示板、ブログ、写真等を通じて分かりやすく伝えられている	48	23	3	0
10	内科健診・歯科検診の結果について伝えられている	63	11	0	0
11	感染症の発生状況や注意事項など、健康に関して情報提供がされている	60	14	0	0
12	保育中の熱やケガなど、お子さんへの体調の対応は適切である	55	17	2	0
13	お子さんの食事とおやつの食べ具合は、必要に応じて連絡されている	45	20	7	1
14	保護者からの意見や質問に対して、丁寧な回答や説明がある	49	24	0	0
15	園生活を通して、お子さんが楽しく過ごせていると思う	62	12	0	0
16	園生活を通して、お子さんが安心して心地よく過ごせていると思う	57	16	1	0
17	園内外が清潔で心地よい空間となっている	62	11	1	0
18	事故防止のための施設整備がされている	57	27	0	0
19	災害・不審者対応などの安全対策がされている	51	20	2	1
20	アレルギー対応や離乳食など、配慮が必要な際は十分に連携を取り対応されている	47	27	0	0
21	全ての職員が子どもの人権を尊重し、大切に接していると感じる	49	22	2	1
22	職員がいきいきと、子どもに笑顔で接している	45	25	3	0
23	子育ての悩みや不安について、気軽に相談できる態度や雰囲気がある	47	25	2	0